

従業者向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	2	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	3	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	5	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	6	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	1	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	5	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		

対 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	

保護者向け

放課後等デイサービス評価表

(保護者の皆さまへ)

○本評価表は、放課後等デイサービスを利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	3	0	2	屋外に活動スペースがあると良い
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	1	0	0	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	0	0	1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	1	0	0	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	0	0	1	
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	0	0	1	
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	21	0	0	0	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	0	0	1	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	0	0	0	
	10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	0	0	0	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	14	0	3	4	
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	0	0	0	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	0	0	0	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1	0	6	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	0	0	0	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	0	0	0	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	0	0	0	

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	5	2	5
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	0	2
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	0	1
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	0	0	0
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	1
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	0	0	2
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	0	0	2
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	0	0	2
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	0	0	2
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	1
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	1	0	0
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	0	0	0

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をすることがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

事業所における自己評価結果

事業所名		アンダンテ旭		公表日		2025年 月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		動き回る子どもたちにとっては広いとは言いきれず、活動によっては場所が狭いと感じる	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		他事業所よりは人数は多いが、一人ひとりをゆっくりとみる余裕がないときがある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	書面、電話、アプリケーションと多数の選択肢を駆使して情報の伝達をしている資格支援を行っている学習スペースと活動スペースを分けた活動となっているので、切り替えがしやすい	重度の障害を持つ利用者がいないため、バリアフリーなどの設備は無い状態はある。情報伝達などの環境上の配慮に関しては、不十分であると感じている。施設に設けられている階段が急であるなど、バリアフリーといえる環境ではない	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2		日々、清掃活動を怠ることなくしているため、清潔感を維持することには努めているが、水回りに関しては、老朽感を感じ、男性用の洗面所に関しては狭い。日々の清掃は出来ているが、細かい場所の清掃は出来る時と出来ない時がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	集中しにくい際には、相談室を使って宿題をしている職員室、面談室などを活用し、一人の空間をとれるスペースを確保している	イベントなど特定の条件下では、個室が用意できない場合がある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2		支援計画の振り返りや活動の取入れは出来ているが、PDCAのサイクルに基づいた動きまでにはいけない時がある	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		良いアイデアは取り入れるようにして、まずはやってみる事を試みている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		定期的に研修の実施をしている配属型での研修に関しては事業所での受講が可能となるため、研修への参加の敷居は下がっているように感じている。また、伺い書を用いて申請をすることで、研修への参加も可能となっている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	2			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2	概ねの共有は出来ており、中間評価は主に指導員の意見が中心となっている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	3		個々の把握が出来ていたとしても、必ず実施が利用時間に出来ないこともある	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	支援計画に適した内容の支援プログラムを考え、実行している 指導員中心で毎日のプログラムを組み立ててもらい実施している。また、要望があれば変更している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2	曜日ごとに、週ごとに異なるプログラムを行っている 一週間を通して、曜日ごとに活動プログラムに変化をつけ射ていることで、固定化されていないように工夫をしている 一定の活動とその都度取り入れているプログラムを変えている。	利用者の求める活動をする、どうしても固定化しがちなので、課題に応じた支援を計画していきたい
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	自由時間も作り、個別対応を行っている 例として、工作では分業し、1人で作業でありつつ、集団作業ができて活動に関しては、個別活動（工作や創作）と集団活動（運動や調理）を織り交ぜて支援を行っている 全員で行う活動や、その中でもここに行う工作など、同じ活動でも個人と集団がある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	5		開始前の分担はルーティンになってしまっている。より丁寧になるように改善していく 日々共有しているが、すべてが伝わっているかは難しいことがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	6		イベントなどの活動の後には振り返りを行っているが、平日活動の後の振り返りは行われていない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		記録の記入が追いついていない日がある
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		「4つの基本活動」を組み合わせて活動を行っている 自立が出来るような目標を軸に、基本活動を取り入れるようにしている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		ヨガなどの活動を通して自己決定をする力を育てるための支援を行っている 選択肢を提示したり、どうしたいかを聞き、発言するのを待たせたりして支援している 活動にもよるが、工作や創作活動などの活動において、「考える力」などを育てる支援を行っている 自己選択が苦手な子でも選ぶことができるように心掛けている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2			

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4		書類上では情報を頂くこともあるが、実際の連携を図る場はないことが多い。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		市でのスポーツイベントなどが時折開催されているので、そのようなものに参加ができれば良い 他の児童クラブからの情報はなく、特に活動を一緒にする機会が少ない
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	HUGシステムでの情報を加えて、定期的な電話連絡によってコミュニケーションが取れている	コンタクトが少ないと感じている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	休日に保護者参加型のイベントを開催し、利用者の活動の様子を見学したり、保護者同士の交流の時間を設けた	今後は情報を収集して企画を行ってみたい 保護者同士で話せる機会を設けたイベントを開催したので、今後も定期的に開催出来れば良いと思う 兄弟などもイベントに参加出来れば良い
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	HUGシステムを使って情報を共有している	頻度を上げていきたい
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		書面、オンラインや電話など選択肢を持って伝達をしている 口頭だけでなく、ホワイトボードなどを使って説明している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		ジャンルによっては不足がある
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2		連絡先の見直しや、緊急時に配信するサービスの周知徹底などを日ごろからしていきたい

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		伝えきれていない
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1		共有に不足がある
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		社内研修などで対応を学んでいる	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アンダンテ旭		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 5日		~ 2025年 12月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 11月 5日		~ 2025年 12月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しない体制の構築および活動立案の多様性	<p>指導員の専門的な分野を活かしてかつ、利用者の支援に繋がるプログラムを以下の様に実施している。</p> <p>月曜日：コグトレ 火曜日：チャレンジ 水曜日：調理実習 木曜日：運動 金曜日：工作 土曜日：イベントなど</p> <p>活動例①：英語の教員免許を所有している指導員による英会話をういたコミュニケーション活動 活動例②：昆虫を飼育している指導員によるクワガタやカブトムシの幼虫の飼育に携わる体験を通じた情緒的活動 活動例③：プラレールを所有している指導員による、レイアウト制作を通じた創作および発表活動</p>	<p>更なる充実のためには、「結び付け」と「実践」が求められると思われる。</p> <p>各指導員の個性的なアイデアを基にした活動が、どのような狙いをもって行われていくことを考PDCAサイクルを活用していきたい。</p> <p>それによって活動の更なるブラッシュアップが図れると共に、利用者が体験できる活動の幅が多岐に渡るようにしていきたい。</p>
2	職員の意見等を把握する機会を設ける組織体制	<p>情報の共有に関しては職員会議やケース会議などを通して行われており、管理者や指導員問わず、業務に関わる内容に関して気が付いたことに対して提案や改善などが可能な雰囲気醸成されている。</p> <p>また、提示された提案や改善はPDCAサイクルを用いた運用を通して、事業所に適した形にしていく活動が行われている。</p>	<p>事業所の雰囲気に関しては、継続が出来るように心がけていきたい。そのためには、「気づく力」と「受容する力」という人間的な部分を養われていることが求められている。</p>

3	<p>こどもの自己決定をする力を育てるための支援および雰囲気づくり</p>	<p>コグトレなどの活動を通して自己決定をする力を育てるための支援を行っている。 選択肢を提示したり、どうしたいかを聞き、発言するのを待ったりして支援している。自分で自己決定が行える様に活動の中でも「やる」「やらない」「色を選ぶ」、「活動を選ぶ」など様々な視点から自己選択が出来る様な支援を心掛けた支援を行っている。</p>	<p>子どもが自己決定をしやすくなるためには、その土壌づくりの一つとして、「指導員側の働きかけ」が重要な要素になる。 「指導員が全て決める」という極端な働きかけは、自分で選ぶ場を奪う事になりうる為、利用者が考えて選択するという成長過程において今後社会生活に求められる機会を奪っていることになる。そのため、指導員に求められる働きとしては、「利用者が答えを出すことを待つ力」や「利用者が考えるという動作ができる方向への働きかける力」を修得することが求められる。</p>
---	---------------------------------------	---	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>保護者同士で交流する機会を設ける等の支援体制の創出 きょうだい同士が交流できる機会の創出</p>	<p>保護者側が保護者同士の交流を望む気流が希薄であることと共に兄弟が一人で過ごす時間の確保も必要な場面があることが考えられる。</p>	<p>当事業所では、左記の様に保護者同士の交流に関しては気運が高いという事はない。 しかしながら、イベントとして保護者をお招きして、利用者の活動を見学したり、保護者と管理者とを交えた懇談会を実施するという試みを行った。 気運が低いことはさることながら、利用者の活動などを見学できる機会を創出するという面を鑑みると、今後も希望があれば取り入れて行きたい。</p>
2	<p>チームによる連携しての支援体制の構築</p>	<p>開始前の分担はルーティンになってしまっている。より丁寧になるように改善していく 日々共有しているが、すべてが伝わっているかは難しいことがある。送迎する、宿題を見る、活動を行う、記録をつけるなど役割分担を設けて事業所全体で体制を構築してはいるが、固定化や、マンネリ化などの懸念がある。</p>	<p>左記に関しては、報告の経験不足、タイミングの喪失、内容の失念などの要因が挙げられる。 共有や報告に関しては「所員全体への周知」が求められることから、各職員共通で使うことが出来るような共有や報告事項を記すフォーマットなどがあると良いと思われる。ケース会議などで常に個々の新しい情報が共有できるようにして行く仕組みを作りたい。</p>
3	<p>放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会の創出</p>	<p>平日は下校時刻が各学校によって異なっているため、有効的な活動時間を十分に確保できることが難しい。</p>	<p>市でのスポーツイベントなどが時折開催されているので、そのようなものに参加が出来れば良い。 また、児童クラブや児童館ではないが、パラ卓球の見学を通して、旭市の卓球クラブとの交流から、土曜日の練習へ参加をさせていただくなどの機会があったこともあり、この関係性を良い方向へつなげたい。</p>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アンダンテ旭

公表日 年月日

利用児童数 2025年12月5日 26名

回収数 21

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	3	0	2	屋外に活動スペースがあると良い	屋外に専用のスペースはございませんが、公園、体育館、図書館などの公共の場をお借りしたり、イベントとして事業所以外の屋外での活動を進めておりま
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	1	0	0	なし	他事業所に比べると、児発管1名、指導員：常勤3名、非常勤3名と定員10名に対しての人員配置が出来ているとは思いますが。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	0	0	1	なし	車いすを使用している利用者さんはいませんが、なるべく空間を広く使える様に家具などの配置を考えて段差や危険な個所に留意しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	1	0	0	なし	毎日の清掃、消毒を行い空間は清潔に保つ努力をしています。活動に合わせて、訓練室とその他の場所を使い分けて過ごせるようにしております。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	0	0	2	なし	曜日により、活動を変え5療育や特性に応じた全体の支援と、個別計画を確認しながらその子に合わせて個別に対応をする支援を行っております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	0	0	1	なし	法の改正以降、5療育に合わせた支援プログラムを展開しており個別にご相談があれば支援計画に反映させたり、指導員が活動の中で対応させて頂いております。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	0	0	0	なし	半年毎にモニタリングを実施し、予定が合えば相談支援担当者様にも同席頂いて、目標が達成できているかどうかや、現状の状況を共有する事を話し合う機会を設けております。また次の支援計画が更新される前に目標が変更した時にも対応させて頂けるようにしております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	0	0	1	なし	子どもの発達全般を踏まえ、ウェルビーイング（心身の幸福）の向上につながる支援を行う。不適切な環境や働きかけによる二次障害を防ぐ。子ども自身が持つ力を発揮できるよう支援する。物理的環境、意思疎通の方法、ルールや慣行を見直す。社会的な障壁を取り除くため、子どもや保護者との対話を重ねる。子どもと同様に、家族の幸福感を高める支援を行う。地域との交流促進として、障害児だけでなく、地域の子どもたちと交流できる場をつくる。地域活動や学校生活への円滑な参加を支援する。などの総合的な支援を心掛ける様にして活動しております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	0	0	0	なし	アセスメントに基づく支援として、子どもの生活状況・課題・ニーズを把握するために、観察や保護者への聞き取りを行う。その結果をもとに、支援の方向性を整理しながら進めております。

	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	0	0	0	なし	アセスメントに基づく支援：子どもの生活状況・課題・ニーズを把握するために、観察や保護者への聞き取りを行い、その結果をもとに、支援の方向性を整理する。長期目標・短期目標を設定し、支援内容を「5領域（健康・生活・学習・社会性・家族支援）」に関連づける。計画に沿って、日々の活動（学習支援、コミュニケーション練習、社会参加体験など）を行う。子どもの特性に応じて合理的配慮を加え、安心して取り組める環境を整える。定期的に支援の進捗を確認し、必要に応じて計画を修正する。などの支援を心掛けております。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	0	3	4	なし	放課後児童クラブに関しては、預かり時間が重なる為、交流はありませんが、公園などの公共の場で一緒に遊ぶなどの交流はございます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	0	0	0	なし	契約を交わす前に、重要事項説明書を用いて事業所の利用についての説明をさせていただきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	0	0	0	なし	モニタリングを行う際に、アセスメントシートを用いたり、個別支援計画の目標について説明をしながら話し合うようにしております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1	0	6	なし	イベントに親子で参加出来る機会を設けたり、悩み等を話し合いが出来る様な親御さんの話が出来るとして希望があれば今後展開していきたいと思っております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	21	0	0	0	なし	送迎の際や、電話など個別にご相談頂いた際にはお答えできるようにし、その場でお答えできない時には、関係機関に聞くなどお調べをしてからお答え出来る様にして行きます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	0	0	0	なし	個別支援計画の更新時や、必要がある場合は面談などを実施させていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	0	0	0	なし	個々に合わせた対応が出来る様に、関係機関に相談したり、必要に応じて情報共有や、支援のスキルが上がる様な研修を受けて支援に対応できるように進めて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	5	2	5	なし	ご希望があれば、父母の会などの支援もご協力いたしますが、前回までのアンケートの中で父母の交流を望まない方が多い事ございましたので、皆様のニーズに合わせて対応できるように進めて参ります。兄弟同士の交流に関しましても、喧嘩をしてしまう為、一緒に活動させたくないとお声もございまして、慎重に進めて参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	0	2	なし	その場で、対応解決できることにしましては迅速に対応させていただきます。お時間を要する場合は、曖昧にならない様に、お約束や、期間を設けて対処出来る様に進めて参ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	0	1	なし	毎日の活動記録にお子様の写真を掲載しながらお伝えしたり、イベントに関しましてはアプリ内や、手紙で掲示しております。関係機関からの情報に関しましては、必要に応じて個別にお伝えしております。お子様に関しては、分かりやすい言葉で伝えたり、視覚的に理解出来る様な方法を取ったりと個別に対応いたします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	0	0	0	なし	日々の活動や、イベントなどで体験したことなどをアプリ内で写真を使いながら活動報告を掲載し、閲覧出来る様にしてあります。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	1	なし	個人情報の取り扱いに関しましては、鍵付きの書庫で保管したり、行政機関などに提出を求められたり、緊急時、担当者会議、他事業所間の情報共有など必要最小限に扱い、個別に個人情報に関する同意書にサインを頂いております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	0	0	2	なし	訓練に関しましては、地震、水害、火災の避難訓練を年に3回行っております。緊急時、自然災害時の対応に関しましては、BCP、感染症、虐待、身体拘束などのマニュアルを毎年更新して作成し対応が出来る様に行っております。アプリ内や、手紙などで周知もしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	0	0	2	なし	非常災害に備え、訓練、研修を既定の回数に従って行っております。(BCP、感染症、消火器、心肺蘇生、災害伝言ダイヤル、通報など)
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	0	0	0	なし	非常時に対応できる様に避難訓練を行ったり、安全確認計画の手紙を配布しております。利用者さんには、理解出来る様な言葉がけなどで配慮しています。活動の中でも、道具の使い方、道具の使い方、外での活動では危険個所の確認やルールを伝えながら周知するようにしております。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	0	0	2	なし	事業所開所から現在まで、事故はございませんが、個々に怪我などをした場合には、保護者への電話連絡や、関係機関に連携できるような体制を整えております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	1	なし	安心安全を心掛けて、学校送迎時から事業所から保護者引き渡しまで、細心の注意を払って利用者さんをお預かりしております。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	1	0	0	なし	楽しみに出来る様な居場所を作る努力はしておりますが、利用者さんにとっては、苦手の活動や学習などもして頂かななくてはならない場面もございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	0	0	0	なし	今回の評価は、職員の努力と、保護者様の理解を頂いた賜物です。今後も期待に応えられるよう、より良い支援を目指してまいります。ありがとうございます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		アンダンテ旭		公表日		2025年 月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		動き回る子どもたちにとっては広いとは言いつれず、活動によっては場所が狭いと感じる	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		他事業所よりは人数は多いが、一人ひとりをゆっくりとみる余裕がないときがある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	書面、電話、アプリケーションと多数の選択肢を駆使して情報の伝達をしている資格支援を行っている学習スペースと活動スペースを分けた活動となっているので、切り替えがしやすい	重度の障害を持つ利用者がいないため、バリアフリーなどの設備は無い状態にはある。情報伝達などの環境上の配慮に関しては、不十分であると感じている。施設に設けられている階段が急であるなど、バリアフリーといえる環境ではない	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2		日々、清掃活動を怠ることなくしているため、清潔感を維持することには努めているが、水回りに関しては、老朽感を感じず、男性用の洗面所に関しては狭い。日々の清掃は出来ているが、細かい場所の清掃は出来る時と出来ない時がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	集中しにくい際には、相談室を使って宿題をしている職員室、面談室などを活用し、一人の空間をとれるスペースを確保している	イベントなど特定の条件下では、個室が用意できない場合がある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2		支援計画の振り返りや活動の取入れは出来ているが、PDCAのサイクルに基づいた動きまでにはいけない時がある	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		良いアイデアは取り入れるようにして、まずはやってみる事を試みている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		定期的に研修の実施をしている配属型での研修に関しては事業所での受講が可能となるため、研修への参加の敷居は下がっているように感じている。また、伺い書を用いて申請をすることで、研修への参加も可能となっている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	2			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2	概ねの共有は出来ており、中間評価は主に指導員の意見が中心となっている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	3		個々の把握が出来ていたとしても、必ず実施が利用時間に出来ないこともある	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	支援計画に適した内容の支援プログラムを考え、実行している 指導員中心で毎日のプログラムを組み立ててもらい実施している。また、要望があれば変更している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2	曜日ごとに、週ごとに異なるプログラムを行っている 一週間を通して、曜日ごとに活動プログラムに変化をつけ射ていることで、固定化されていないように工夫をしている 一定の活動とその都度取り入れているプログラムも含まれている	利用者の求める活動をする、どうしても固定化しがちなので、課題に応じた支援を計画していきたい
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	自由時間も作り、個別対応を行っている 例として、工作では分業し、1人で作業でありつつ、集団作業ができて活動に関しては、個別活動（工作や創作）と集団活動（運動や調理）を織り交ぜて支援を行っている 全員で行う活動や、その中でもここに行う工作など、同じ活動でも個人と集団がある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	5		開始前の分担はルーティンになってしまっている。より丁寧になるように改善していく 日々共有しているが、すべてが伝わっているかは難しいことがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	6		イベントなどの活動の後には振り返りを行っているが、平日活動の後の振り返りは行われていない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		記録の記入が追いついていない日がある
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7		「4つの基本活動」を組み合わせて活動を行っている 自立が出来るような目標を軸に、基本活動を取り入れるようにしている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		コグトレなどの活動を通して自己決定をする力を育てるための支援を行っている 選択肢を提示したり、どうしたいかを聞き、発言するのを待たせたりして支援している 活動にもよるが、工作や創作活動などの活動において、「考える力」などを育てる支援を行っている 自己選択がにが苦手な子でも選ぶことができるように心掛けている。		
関係機関や保	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4		書類上では情報を頂くこともあるが、実際の連携を図る場はないことが多い。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2		

保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		市でのスポーツイベントなどが時折開催されているので、そのようなものに参加が出来れば良い 他の児童クラブからの情報はなく、特に活動を一緒にする機会が少ない
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	HUGシステムでの情報を加えて、定期的な電話連絡によってコミュニケーションが取れている	コンタクトが少ないと感じている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	休日に保護者参加型のイベントを開催し、利用者の活動の様子を見学したり、保護者同士の交流の時間を設けた	今後は情報を収集して企画を行ってみたい 保護者同士で話せる機会を設けたイベントを開催したので、今後も定期的に開催出来れば良いと思う 兄弟などもイベントに参加出来れば良い
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	HUGシステムを使って情報を共有している	頻度を上げていきたい
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		書面、オンラインや電話など選択肢を持って伝達をしている 口頭だけでなく、ホワイトボードなどを使って説明している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		ジャンルによっては不足がある
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2		連絡先の見直しや、緊急時に配信するサービスの周知徹底などを日ごろからしていきたい
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			

対 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		伝えきれていない
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1		共有に不足がある
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		社内研修などで対応を学んでいる	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1		